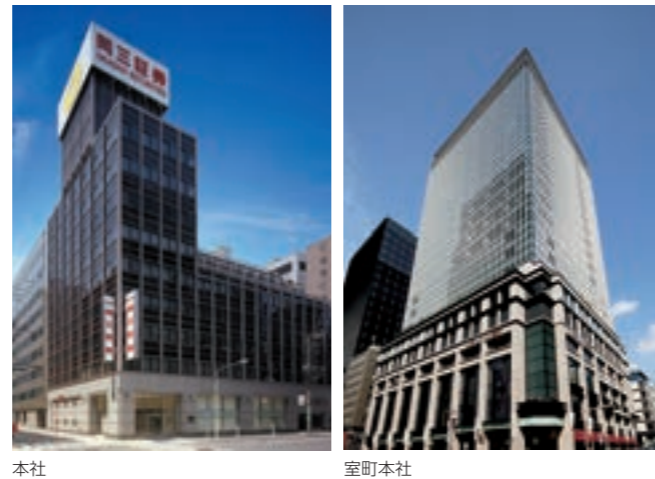


■ 会社概要 (2020年11月16日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ  
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)  
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号  
創業 1923年4月4日  
設立 1944年8月25日  
資本金 18,589,682,639円  
従業員数 3,516名 (第83期第2四半期連結ベース)  
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所

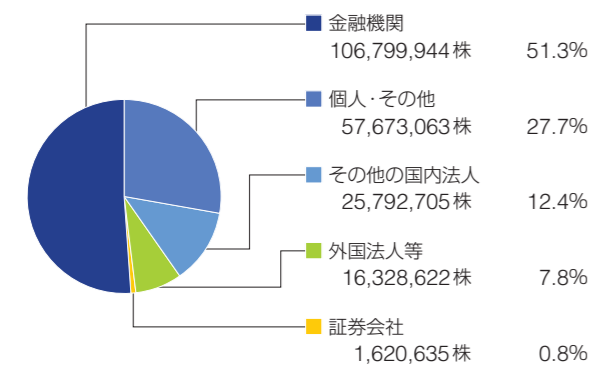


■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株  
発行済株式の総数 208,214,969株  
株主数 25,467名

所有者別持株比率



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,239	4.62
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.36
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社 日本カस्टディ銀行	4,924	2.46

※ 当社は、自己株式8,220,105株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中に開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載) <https://www.okasan.jp>  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)  
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

# 株主のみなさまへ

第83期中間のご報告 (2020年4月1日~2020年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの新型コロナウイルス感染症拡大により被害を受けたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、第83期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当上半期の証券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う2-3月の大幅下落後、各国政府による財政出動や中央銀行による金融緩和策、経済活動の段階的な再開を背景に持ち直しの展開となりました。コロナ禍により世界が不可逆的な変化に晒されている今、お客さま一人ひとりに付加価値の高い最適なサービスを提供する重要性が一段と増していると考えております。

当社グループは本年4月に新体制のもと新中期経営計画をスタートさせ改革に取り組んでおります。中核子会社の岡三証券では「カンパニー制」試行として4月に都内5店舗をまとめた「岡三とうきょうカンパニー」を設置するとともに、首都圏の法人営業の統合やチーム制営業の試験導入を実施したほか、中長期的な安定運用・資産形成のための積み立て投資サービス「岡三Naviハイブリッド」の開始やオンライントレードのリニューアルに取り組みました。また、岡三オンライン証券においては取引ツールやサービスが好評を博しオリコン顧客満足度ランキング(ネット証券)総合1位を獲得しました。グループ全体としてデジタルイノベーションを進め、引き続き戦略的M&Aにより事業基盤のさらなる強化を図っております。

私どもの強みであるグループ総合力を発揮し、創業以来培ってきた「お客さま大事」の経営哲学を堅持しつつ「社員」「株主さま」「社会」へ貢献することによって、持続的な成長と長期的な企業価値向上の実現に向け役員一同精励してまいり所存です。

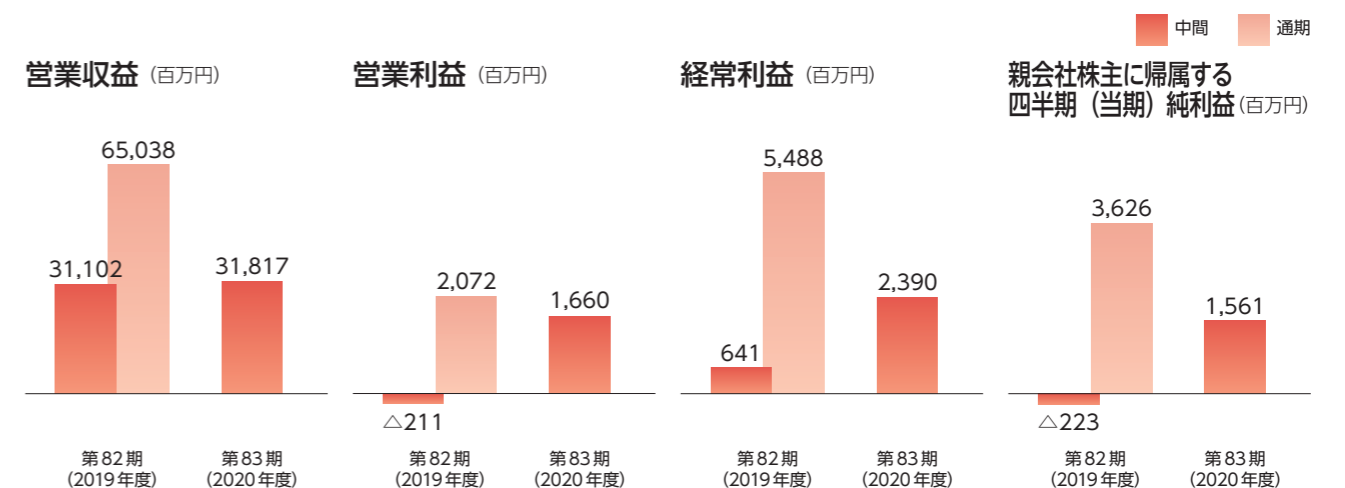
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年11月



取締役社長 新芝宏之

■ 業績ハイライト (連結)



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (2019年9月30日)	当年度第2四半期 (2020年9月30日)
<資産の部>		
<b>流動資産</b>	<b>430,362</b>	<b>406,871</b>
現金・預金	64,217	79,458
預託金	61,810	75,960
トレーディング商品	135,718	101,935
約定見返勘定	17,951	—
信用取引資産	45,334	47,292
有価証券担保貸付金	90,836	85,379
その他の流動資産	14,494	16,845
<b>固定資産</b>	<b>71,885</b>	<b>80,851</b>
有形固定資産	19,110	18,450
無形固定資産	6,230	6,264
投資その他の資産	46,544	56,136
<b>資産合計</b>	<b>502,248</b>	<b>487,723</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (2019年9月30日)	当年度第2四半期 (2020年9月30日)
<負債の部>		
<b>流動負債</b>	<b>313,841</b>	<b>292,388</b>
トレーディング商品	80,168	87,329
約定見返勘定	—	12,154
信用取引負債	22,453	17,111
有価証券担保借入金	62,100	26
預り金	41,014	52,300
受入保証金	30,251	35,417
短期借入金	71,936	81,844
その他の流動負債	5,916	6,203
<b>固定負債</b>	<b>20,529</b>	<b>23,228</b>
特別法上の準備金	1,207	1,044
<b>負債合計</b>	<b>335,578</b>	<b>316,662</b>
<純資産の部>		
<b>株主資本</b>	<b>139,618</b>	<b>148,059</b>
資本金	18,589	18,589
資本剰余金	18,692	23,843
利益剰余金	105,986	109,422
自己株式	△ 3,651	△ 3,795
その他の包括利益累計額	9,795	13,667
新株予約権	359	422
非支配株主持分	16,897	8,911
<b>純資産合計</b>	<b>166,670</b>	<b>171,060</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>502,248</b>	<b>487,723</b>

## 四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業収益</b>	<b>31,102</b>	<b>31,817</b>
① 受入手数料	18,863	20,782
② トレーディング損益	10,984	9,819
金融収益	810	779
その他の営業収益	444	436
<b>金融費用</b>	<b>471</b>	<b>567</b>
<b>純営業収益</b>	<b>30,631</b>	<b>31,249</b>
③ 販売費・一般管理費	30,842	29,589
<b>営業利益</b>	<b>△ 211</b>	<b>1,660</b>
<b>営業外収益</b>	<b>944</b>	<b>845</b>
<b>営業外費用</b>	<b>90</b>	<b>115</b>
<b>経常利益</b>	<b>641</b>	<b>2,390</b>
<b>特別利益</b>	<b>37</b>	<b>228</b>
<b>特別損失</b>	<b>269</b>	<b>165</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>409</b>	<b>2,453</b>
法人税、住民税及び事業税	475	544
法人税等調整額	△ 178	192
<b>法人税等合計</b>	<b>297</b>	<b>737</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>112</b>	<b>1,716</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	335	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 223	1,561

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比2.3%増の318億17百万円となりました。

### ①受入手数料

投資信託関連の収益は減少した一方、国内外株式の委託手数料が増加し、受入手数料は前年同期比10.2%増の207億82百万円となりました。

### ②トレーディング損益

株券等トレーディング損益が増加した一方、外国債券にかかるトレーディング損益の減少により、トレーディング損益は前年同期比10.6%減の98億19百万円となりました。

### ③販売費・一般管理費

主に取引関係費や人件費の減少等により、販売費・一般管理費は前年同期比4.1%減の295億89百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比272.3%増の23億90百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億61百万円（前年同期は2億23百万円の赤字）となりました。

# OKASAN TOPICS

## 岡 三 ト ピ ッ ク ス

### 岡三証券

#### 「グリーンボンド発行促進プラットフォーム」発行支援者として登録

岡三証券は本年9月、グリーンボンド発行促進体制整備支援事業である「グリーンボンド発行促進プラットフォーム」において、発行支援者として登録されました。

グリーンボンド発行促進体制整備支援事業は、環境省が我が国におけるグリーンボンドの発行促進に向けて支援を行うもので、我が国におけるグリーンボンドの自律的な発行・投資の促進を目指しています。

岡三証券は、2011年の「ワクチン債」販売以来、社会貢献債(ESG債)の発行支援ならびに販売を推進しており、このたびの登録を契機として、国内グリーンボンド市場の発展に一層貢献してまいります。



GreenBond Platform

登録発行支援者

### 岡三証券

#### 「岡三Naviハイブリッド」サービス提供開始

岡三証券は本年9月、ウェルスナビ社とともに新たな資産運用サービス「岡三Naviハイブリッド」の提供を開始いたしました。

このサービスは、ウェルスナビ社が資産運用エンジンを提供し、岡三証券が口座開設から運用開始後のフォローまでを対面で行う投資一任サービスです。

ウェルスナビ社が世界水準の全自動資産運用サービスでお客さまの資産運用に関する手間を省き、岡三証券がお客さまの疑問や不安に対するフォローを行うことで、どなたでも長期・積立・分散の資産運用を続けられるよう取り組んでまいります。



### 岡三オンライン証券

#### インヴァスト証券の取引所CFD事業を承継

岡三オンライン証券では本年8月、会社分割によるインヴァスト証券の取引所CFD事業の承継を完了いたしました。

岡三オンライン証券の取引所CFD事業は、2010年11月の事業開始以降、多くのお客さまにご支持をいただき、現在、高いマーケットシェアを獲得しております。また昨年10月からは対面サービスである「サポートコース」を新設するなど、お客さまのニーズに沿ったサービス提供に努めております。

岡三オンライン証券では、今回の事業承継により新たなお客さまを迎えるとともに、今後もマーケットにおけるプレゼンスの更なる向上、ならびに事業拡大に努めてまいります。



### 岡三アセットマネジメント

#### 地域応援ファンドによる寄附を実施

岡三アセットマネジメントは本年5月、同社が運用する地域応援ファンド「香川県応援ファンド」の信託報酬の一部について、香川県の社会福祉向上のため、県内の障害者福祉施設への寄附を実施いたしました。

また7月には、同じく同社が運用する地域応援ファンド「水戸証券アジア・オセアニア債券オープン(寄附付)」の信託報酬の一部について、東日本大震災復興支援のため、岩手、宮城、福島、茨城の4県に寄附を実施いたしました。

岡三証券グループ各社では、今後も本業を通じた地域の社会福祉への貢献や災害復興支援に努めてまいります。



香川県応援ファンド



水戸証券アジア・オセアニア債券オープン(寄附付)